

# 大道理かわら版 むくろじ

## 交流館一年目を振り返り 事務局長 山田 憲正



大道理夢求の里交流館事務局長という大役を引き受け、早いもので一年が経ちました。振り返ると、全ての業務が初めてのことで、地域の皆様にはご迷惑を多々おかけしたと存じます。皆様からの暖かいご指導とご協力のもと、何とか一年を乗り越える事が出来ました事に對し心より厚くお礼申し上げます。

現在の大道理は、高齢化率五十二%を超え、最重要課題として、今後の地域のあり方について取り組みをすることが急務であります。幸いにして本地区はいち早く、県、市の方々のご指導により「夢プラン」の策定をし、平成二十七年度で第一期を終了し、本年度見直しの年となり、先般の総会に於いて提案されたところであります。この間、年々充実した取り組みと実践により、成果が出つつあります。

特に中山間地域特有の課題解決のため、大道理をよくなる会では、高齢化、後継者不足、農地の荒廃等を考慮し、お年寄りが元気で暮らせるための取り組みとして、いち早く月二回の高齢者サロンの開催や通院や買い物支援、地域内移動手段としての「生活交通もやい便」運行、高齢者が困った時のお手伝いをする便利屋事業やほたる工房による弁当の配食を兼ねた安否確認等、お年寄りにやさしい地域を重点に置いた取り組みがされております。

また、近年の異常気象の影響からか、自然災害が多発し、先日から続く熊本地震では、多くの尊い命が犠牲になりました。今日、どこで何が起るか分からないうちで、最悪の状況を考慮した自主防災組織も新たに立ち上げられました。四月に入り、明るい話題では、地区内の空き家に、男女六人の漫画家、デザイナーを温かい見守りをお願いいたしました。地域の皆さんの温かい見守りをお願いいたします。二年目を迎える交流館としても、大道理をよくする会と連携を深め、地域の皆さんが気軽に集える施設として、努力して参る所存であります。

発行元  
大道理夢求の里交流館  
運営協議会  
TEL : 0834-88-1830  
平成28年  
5月1日号  
(No.1 2)



大道理地区の世帯数と人口

世帯数	188世帯
人口	397人
男性	181人
女性	216人

(平成28年3月31日現在)

## 連携により新しい価値の創造を 「中山間地域を元気にする研修会」開催



宮本さんの講演中の様子です

三月十九日、大道理夢求の里交流館で「中山間地域を元気にする研修会」が開かれ、周南市北部8地区の中山間地域の団体に所属する方や周南市内の事業者の方、市職員など約四十名の方が参加されました。今回の研修会のテーマは「農村と都市の交流人口を拡大するための連携戦略」というもので、午前中に行われた第一部は、地域づくり総合プロデューサーの宮本倫明さんが、ご自身が関わって来られた三重県や愛媛県など様々な県での地域づくりの取り組み事例についてのお話をされました。



宮本さんの講演を聞く参加者の皆さん

が、まず第一歩であるというお話をされました。愛媛県の事例では、何が地域の観光資源になるのかを考えた時、地域のコミュニティの活動でいることを、来られた方に楽しんでもらうという形で観光資源化するために「こんなことをしたら楽しい」という地域の自慢を見つけてから始めたというお話をされました。そこでは、地域の方が第三種旅行業の免許を取得され、自分たちで旅行会社を立ち上げられたということでした。

それから、連携することによって新しいものが生まれ、大きくなり、価値が生まれていくという事例をいくつか紹介されました。三重県の事例では、地域と企業との連携、高校、大学など学校との連携など様々な事例を紹介されました。

商品開発だけでなく、高校、大学と連携した竹林の整備、耕作放棄地を整備する地域貢献活動に、大学生のサッカー部の合宿で来てもらった事例、漂着ゴミを拾う活動と物販をコラボさせ、イベント大賞を受賞した答志島の「奈佐の浜プロジェクト」という事例など幅広い分野での連携の事例をお話し下さいました。

## それぞれの地域の自慢を共有！

午後からは、今回参加された周南市北部中山間の八地区それぞれのテーブルに分かれて、座談会として、各地域の自然や歴史、そこで体験できること、風習、ゆかりの人物など自慢発表が行われ、北部中山間地域全体で各地域の自慢を共有しました。

講演後、平成二十八年度から始まる「周南市共創プロジェクト」の説明がありました。こちらは、持続的に地域づくり活動を行うために、宮本さんの講演での事例にあつたような、様々な異なる業種の二つ以上の団体が連携して周南市域を対象とした公益的な活動を行う際、市からの財政(初期投資のサポート)、人的支援(プロデューサー、専門家派遣)を行いますというものです。お昼には机をぐるりと四角く並べ、皆さんで歓談されながら大道理ほたる工房のお弁当を召し上がり、楽しい時間を過ごされました。



大道理地区の皆さんの話し合い風景。付箋にそれぞれ思い付く自慢を書いて模造紙に貼っていきます



長穂地区の皆さんの自慢発表前の話し合い風景です



鹿野地区の方が地域の自慢を挙げておられます



大向地区の方が自慢発表されています

## 繋がることで出来ること



話し合いの風景です。楽しい意見が出る度に皆さん思わず笑顔が...



次々と意見を出し合っております



皆さん熱心に聞いておられます



連携することで幅広く豊かなアイデアが生まれます！



発表されています！

## 連携、共創のはじまり



発表の講評をされる宮本さん

発表の場では、それぞれ異なる地域で集まってチームを作って話し合いを行ったことで、様々なアイデアが生まれました！長穂の軽トラ市を八地区で連携して

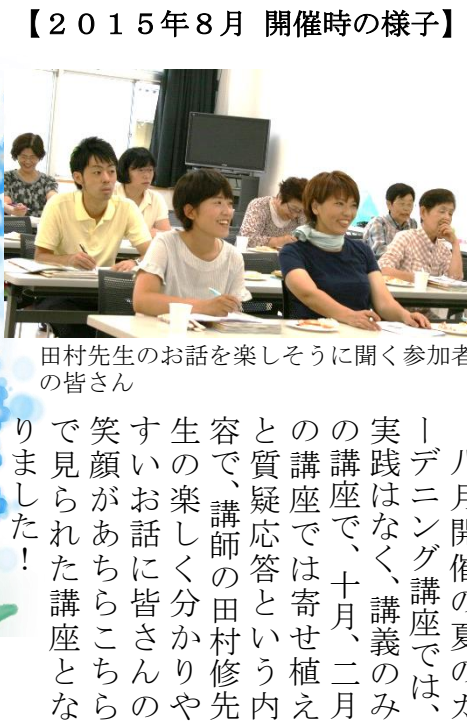


行おうといった意見、桜などの花、滝、虫等の観光資源での連携に関する意見、食に関する特産品づくりを北部全体で取り組もうという意見など、他にも連携することで、様々なものが生まれていきそうな、これからが楽しみです。連携によって、周南地域で新たな今までのない価値を持つプロジェクトが今後、色々と生み出されていく端緒となる研修会となりました。

# 平成二十七年 夢求の里交流館 主催講座の様子

平成二十七年、夢求の里交流館では八月、十月、二月の三回のガーデニング講座と十二月のミニ門松づくり講座、八月の焼き肉のタレ作り講座、十一月二十九日開催のカメラ講座と六回の当館主催の講座を開催いたしました。平成二十七年の総括として今号で、講座の様子をお伝えします。

## 「ガーデニング講座」



田村先生のお話を楽しそうに聞く参加者の皆さん

八月開催の夏のガーデニング講座では、実践はなく、講義のみの講座で、十月、二月の講座では寄せ植えと質疑応答という内容で、講師の田村修先生の楽しく分かりやすいお話に皆さんの笑顔があちらこちらで見られた講座となりました！

【2016年2月開催時の様子】



春らしい彩の美しい寄せ植えです！

【10月 開催時の様子】



寄せ植えの実践前。田村先生の説明を皆さん熱心に聞かれています！

## 「絶対！に写真が上手くなる カメラ講座」

萩、岩国、山陽小野田からの参加も。県内各地より定員を上回る約四十名が集う！



▲午前中、講義編の様子です

カメラのワタナベの浅原透店長を講師に迎えて開催したカメラ講座。午前中は浅原さんによる露出やホワイトバランスなどの説明等、写真撮影に必要なことを基礎から分かりやすくお伝えする内容の講義で、午後からは外へ出て、浅原さんがご持参された、デモ機のカメラを使って、実際に写真撮影する実践編の二部構成で、参加された方多くのご好評を頂く内容の講座でした。



▲大道理地区内に出て撮影会！こちらはひょうたん作家の能見文男さんの工房です



▲最新機種のカニョンのデジタル一眼レフカメラのデモ機を使って参加の方が実際に撮影されています。

## 「焼き肉のタレづくり&茄子のゼリーづくり講座」



八月四日に開催。講師は大道理ほたる工房代表の秋貞啓子さんとJA周南女性部の皆さんで、夏休み期間中のため、親子連れの参加者の姿が沢山見られました。ニンニクの皮むきには皆さんひと苦労されていました。和気あいあいと協力しながら、楽しく作っておられました！

## 「ミニ門松づくりと芋飴試食会」

十二月十九日、お正月を控えて、「大道理農業小学校ミニ門松づくりと芋飴試食会」を開催しました。講師は地元大道理地区の森藤茂雄さんと貞弘始さんです。今回の講座では伝統食である芋飴を、昼食時に参加者の方に試食して頂きました。



制作中の様子です！



▲昼食の準備風景です。上の写真は朝搦いたお餅を丸めておられる様子です。餅豚汁・酢の物等の手作りの昼食で参加者の方をおもてなしします！



▲参加者の皆さんで出来上がった作品と一緒に記念撮影！

## 夢求の里交流館からのお知らせ

### ミニサロンのお知らせ

日時：5月11日（水）  
13時30分～16時  
場所：大道理夢求の里交流館 大会議室  
対象者：男女年齢問わず  
備考：ご希望の方は、送迎をいたします

### サロンのお誘い

日時：5月25日（水）  
10時30分～16時  
場所：大道理夢求の里交流館 大会議室  
対象者：男女年齢問わず  
備考：ご希望の方は、送迎をいたします



### 編集後記

季節が一巡りして、再び芝桜の季節となりました。今年もなかなかにつくりと花を楽しむことが出来ず、交流館での仕事の後、夕方静かになつた芝桜会場で、心地よい風を受けながら、一人心ゆくまで芝桜を見たとき、「いいなあ」と、穏やかに満たされた気持ちになりました。年度も改まり、今号で十二号目のむくろじは、新しい自治会長さんの所へのお届けとなります。配りもので訪れる時、季節ごとの自然の移り変わりや、猫さん、ワンコとの出会いも密かな楽しみでした。貴重な癒しスポットであったIさん宅のトラ吉君と配りものの時に会えなくなることに寂しさを覚えますが、機会を見つけて、会いに行かせて頂きたいです。新しい自治会長さん、新しい風景、人、猫さん、ワンコとの出会いも楽しみです。今号の「むくろじ」は平成二十七年度夢求の里交流館の自主事業の講座の様子をお伝えする総括号です。芋飴づくりの時にも触れましたが、全てに於いて地域の皆さんのご助力なしには成り立たないことばかりでした。ミニ門松づくりでの参加者の方へのおもてなしの昼食づくり風景の写真をしていると、事前の当館での準備不足、段取りの悪さから、昼食づくりに来て下さった皆さんが時間との闘いで、餅米を蒸し、搗きながら、豚汁、酢の物を作られ、お餅を丸めて下さった姿が鮮明に脳裏に浮かびます。夢求の里交流館でお世話になるようになって、大道理地区の方と接する中で、印象深く感じることが色々ありますが、その中でも、地域の方のため、誰かのために何かすることを当たり前のことに、凄いなあと感動を覚えます。芝桜会場でも告知させて頂いています。今年度「人と自然が繋がる里おどろりフォトコンテスト」としてコンテストを開催致します。芝桜の美しさはもとより、四季の移り変わりの中で自然が見せてくれる美、日々の暮らしの中での風景、人々。応募される方が大道理地区のどのような情景を切り取って下さるのか、作品と出会える秋が楽しみです。（山縣あきこ）